

令和7年度大阪府立吹田東高等学校

第2回学校運営協議会

日 時：令和7年12月4日（木）

場 所：大阪府立吹田東高等学校 校長室

・委 員	吉川 正晃	吹田市立千里丘中学校 校長
	金子 久美子	吹田東高等学校 後援会会长
	春貴 勇力	吹田東高等学校 P T A会長
	佐伯 勇	甲南女子大学教授
・事務局	田尻 誠	吹田東高等学校 校長
	山室 裕	吹田東高等学校 教頭
	神谷 朋子	吹田東高等学校 事務長
	村上 明弘	吹田東高等学校 首席
	淵上 陸人	吹田東高等学校 首席
	丸山 勉	吹田東高等学校 指導教諭
	豊澤 匠	吹田東高等学校 教諭
	西村 一誠	吹田東高等学校 教諭

◆学校長挨拶

◆議 事

【報告事項】

（1）生徒による授業アンケート結果について（田尻校長）【資料①1-4 参照】

○資料説明

○実施時期、方法の説明

- ・年2回実施予定、第1回を7月18日（終業式）に実施

- ・マークシート方式

○結果分析の説明

<学校平均>

- ・令和2年度に向上し、その後横ばいから令和6年度は上がり、令和7年度もさらに数値が上昇した。

高評価は、ICT活用や多面的な評価等が結果に繋がっているように見受けられる。

- ・令和7年度も学校目標である全体平均3.3以上、興味・関心、知識・技能の平均3.2以上を達成した。

<教員ごとの差の分析について>

- ・教諭、常勤講師平均と非常勤講師平均の比較、担任平均と非担任平均の比較、教員の年代別平均値の比較を行った。

- ・それぞれの数値が上昇した。特に非担任、20代の上昇分が大きい。

<教科ごとの経年変化>

- ・数学、保健体育、外国語が上昇傾向にある。

- ・ICTの効果的な活用等が要因と考えられる。

<座学と実技の数値>

- ・実技科目に比べ、座学科目は高評価を得にくい傾向にあるが、ここ2年間で差が縮小されている。

○今後の予定

- ・中間考查後より、公開授業週間を実施し、各教員が他の授業を見学し、「授業見学シート」を提出。教科を越え相互に見学・評価をし、授業改善の意識を高める。
- ・LGH（リーディング GIGA ハイスchool）として 11 名の教員の外部への公開授業を実施。校内のみで 2 回の研究討議を実施。
- ・管理職は、授業見学後、面談等で各教員に指導・助言を行う。
- ・第 2 回アンケートは 12 月 23 日に実施し、第 1 回と比較する。

Q 委員 各教科の経年変化を見ると国語の値も伸びているが何か原因はあるか。

A ICT の効果的な活用等が結果に反映されているのではと考えられる。

(2) 令和 7 年度学校経営計画の進捗状況について (田尻校長) 【資料②参照】

○本年度の取組内容及び自己評価について

- ・各中期的目標における自己評価の進捗状況の説明

Q 委員 食堂の予約フォームがルールメイキングの発案で実現したが、フォームの設計や費用はどうなっているか。

A AI を利用しながら Google フォームで行い、費用は校内の予算で賄っている。

Q 委員 席の予約も取れるのか。

A メニューのみ。

(3) 総合的な探究の時間について (淵上首席) 【資料③】

○主題（3 年間）

- ・吹田東高校のめざす生徒像である「主体的に行動する生徒」を育成する。
- ・外部団体と連携し学んでいく。

○各学年の主題と主な流れ

「1 年生」

- ・《自他を見つめる》をテーマに 21 世紀型リーダーシップを学ぶ。
- ・21 世紀型リーダーシップ研修、探究活動①を行う。

「2 年生」

- ・《現代社会をみつめる》をテーマに、企業と連携し、企画立案型の探究学習を進めることで社会に出て生きる力を育成する。
- ・探究活動②を行う。

「3 年生」

- ・《将来を見つめる》をテーマに身近な“誰か”的課題を解決する“何か”を作る。
- ・課題解決策の手段として、ノーコードまたはローコードツールにより簡易アプリを開発する、あるいは 3D プリンターを使って模型を試作することを目標に、企画、設計図等を作成し、探究学習を完成させる。

○50 期生アンケート結果

Q 委員 アンケート結果で、2 年生から 3 年生の伸びが顕著に表れているが原因は何か。

A 3 年生では成果物があり、達成感が持てるからではないか。

Q 委員 「自己肯定感」が高まったという回答が 49 期生より 50 期生の方が高いが原因は何か。

A 教員側の意識にも変化が見られ、それが生徒にも伝わっていると思う。

Q 委員 連携している企業や関わっていただいた企業へのフィードバックは行っているか。

A 発表時に来ていただいた企業や団体にはその時にアンケートを取って返している。

(4) 広報活動について (村上首席) 【資料④】

○第1回オープンスクール

- ・来場者数は昨年並み。
- ・アンケート結果は概ね肯定的回答を得ている。

Q 委員 授業見学を土曜日に設定しているが、どのような内容で行っているのか。

A 在校生の保護者の公開授業も兼ねているため、今回は普段行っている金曜午前の時間割の内容で見学してもらった。

Q 委員 予約が早くにいっぱいになっている様だが受け入れ人数を増やすことはできないのか。

A 体験部活等の受け入れ人数の制限もあるため今のところ増やすことは難しい。
午前の授業見学をもう1コマ増やせないか検討している。

(5) 府立高校の魅力化に向けたアンケート調査結果 (渕上首席) 【資料⑤】

○調査概要

- ・本校は昨年より実施。
- ・調査対象は1年生

○全体集計

- ・志望校決定理由の「学校行事が魅力的」「校風に惹かれた」の回答が昨年より増加している。
- ・学校生活全般の満足度も上がっている。

◆その他

○令和10年度大阪府立高校入試特色枠について

◆諸連絡

次回（第3回）の日程で1月下旬か2月上旬で調整する。